

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和6年度年間評価）

基本目標3 住み慣れた地域における生活の継続支援

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	年間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
もーやっこサポート事業登録者数 （累積）	90人	69人	69人	○	B
	目標値には未達。居住支援を利用した人を中心に利用者数が増えてきている。				
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合	50%	18%	38%	○	B
	目標値には未達。1月末時点で34件の相談があり、物件の確保や支援の連携のため、協議会やセミナーを通じて、不動産業や基幹型包括支援センター等の各支援機関が、今後の取り組みに対し、それぞれの立場から理解を深めた。				

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上 100%未満の達成度合
- △ 50%以上 75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

B

担当部署評価

「もーやっこサポート事業登録者数」について、利用促進を図るとともに、周知方法について再度検討していく。

「居住支援」について、各支援機関と連携を取りながら、居住に限らず相談者に寄り添い対応できている。年間目標値は未達であったが、今まで支援してきた方に関しても長期的なサポートを行い、居住支援のみではなく多角的に支援することができている。マッチング件数だけでなく、相談件数やその支援内容にも着目し、適切に事業が行えているかの評価を継続していく。今後、増えていく事例に対し、どのように対処していくかも検討していく必要がある。

評価委員会評価

「もーやっこサポート事業事業登録者数」について、計画策定では毎年登録者数が増加していく想定であったが、実際、様々な理由により登録者の喪失があることが分かり、「年間目標値」の達成が厳しい現状であるが、事業が浸透するための周知等の努力をしていただいたうえで、次年度「年間目標値」の設定根拠について再度検討する。

「居住支援」における賃貸オーナーが心配する死後の残置物処理という課題について、対応策として検討していく残置物処理のための積立金は、相談者に負担のかからない方法を考慮していただきたい。